



参拝者・観菊者で賑わう境内



# 第41回 西日本菊花大会 閉幕

## 内閣総理大臣賞に

### 時田義光氏 (佐賀県鳥栖市)

西日本最大の規模を誇る菊花の祭典、西日本菊花大会 (主催 宗像大社菊花会・宗像観光協会、後援 福岡県他) が、先月二十二日を以て盛大裡に終了した。

この大会は当大社の「昭和の大造営」を奉祝し、昭和四十六年に第一回大会が開催され、今年で四十一回目となる。境内には九州各県、山口の菊愛好家約百人から、丹精込めて育てられた菊約三千鉢が出品され質・量ともに西日本最大級である。

開催にあたっては、宗像大社菊花会を中心に宗像市商工会青年部、(社)宗像青年会議所、各運送会社外多数の皆様方に御奉仕頂き菊花の搬入・展示が行われた。

十一月一日、福岡県農業試験場園芸研究所花き部々長 松野孝敏氏を審査長として審査が行われ、大輪・盆栽・懸崖・特作の四部門それぞれ厳しい出品基準・審査基準に則り厳正に審査された。

本年は昨年同様、夏の猛暑に加え、出品前の長雨などの天候不順により菊作りにとって非常に条件が悪かったものの会員皆様の努力により、十一月一日には見事な菊花が境内に出揃い、多くの参拝者を楽しませた。

## 12月祭事暦

- 1・15日 月次祭
  - 午前10時 高宮祭 第二宮・第三宮 引き続き 宗像護国神社 月命日祭(1日) 巡 拜(15日)
  - 午前11時～ 総社祭 浦安舞奉奏(1日) 豊栄舞奉奏(15日)
- 18日
  - 午前6時～ 古式祭
  - 午前6時30分～ 御座
  - 午前10時～ 鎮火祭
- 19日 松尾神社祭 午前11時～
- 23日 天長祭 午前11時～
- 31日
  - 午後3時～ 年越大祝式 引き続き 除夜祭

## 余滴

兔と言えば、神話では「因幡の素兔」が先ず思い出される。ウニを騙して海を渡るも、逆に毛をむしられたところで大黒様に助けられる事有名だ▼欄間彫刻や刀装具・陶磁器の絵付などの画題でも「波に兔」の図が盛んに作られている。しかしこの画題、神話がモチーフでは無いという▼能楽「竹生島」に「兔も波を駆けるか」という件がある。竹生島の参詣者に弁財天女が見せた神異とされる▼そこから転じて武家社会では、「波に兔」は「俊足」を象徴すると持て囃されたそう。武人が戦場にあつて「俊足」である事は、美点である▼時を超え平成時代の今年もあと僅かであるが、卯年であるのを覚えておられるであろうか。今年は大震災を始めとする天災・人災が次々起こり、戦後最大の苦難の年といえる。まさに「俊足」の一年であつた▼また、その中にあつて日本人の強さと優しさを改めて見た年でもある。多くのボランティア・義捐金に加えて、国民を挙げて「がんばれ日本」が掛け声となっている▼まだ復興の槌音高くとは言えない状況だ。だが日本人の心にその強さと優しさがある限り、やがては日本も不死鳥の如く甦る。(佐)



遷宮で結ぶ人の輪心の輪  
第六十二回神宮式年遷宮

神具・装束・授与品

**井筒**

装束店 〒600-8503 京都市下京区油小路通六条上る  
フリーダイヤル 0120-075-980

福岡店 〒812-0068 福岡市東区社領1-12-10-401  
フリーダイヤル 0120-055-092

授与品店 〒601-8348 京都市南区吉祥院観音堂町23  
フリーダイヤル 0120-075-820

木組の家 匠の技

総合建築業 **株式会社 弘江組**

〒811-3406 福岡県宗像市稲元4丁目-20 電話(0940)32-2567



十一月十六日、当大社清明殿にて表彰式が開催され、来賓として、衆議院議員古賀敬章様(代理・御令室)、地元宗像市立玄海小学校々長塩川亨様外にご臨席賜った。受賞者約一〇〇名が出席し、審査長の

松野孝敏氏より審査講評を賜り一同熱心に聞き入っていた。本大会は三月に発生した東日本大震災に加え、関西地方の大雨災害など、天災を受けた日本の復興を願い、「がんばろう日本復興特別花壇」を第

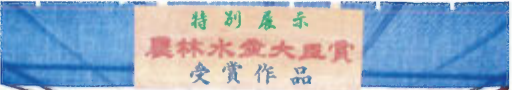
一鳥居付近に設けた。この花壇は復興を願う当会々員によって準備され、大会期間中多くの参拝者の共感を頂いた。儀式殿前には、恒例となつたキャラクター人形に併せ、本年は「七五三」の菊文字も展示され、連日多くの参拝者が記念写真を撮っていた。本年は期間中、休日の雨が多かったりしたが多くの参拝者を迎える事が出来、盛大裡に終える事が出来た。



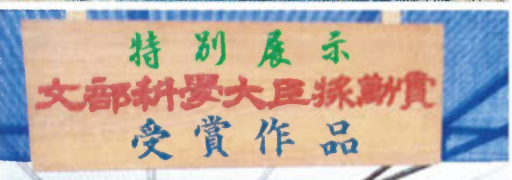
本年は期間中、休日の雨が多かったりしたが多くの参拝者を迎える事が出来、盛大裡に終える事が出来た。



内閣総理大臣賞 時田義光氏



農林水産大臣賞 和田太義氏



文部科学大臣賞 中川泰祐氏

御礼

第四十一回西日本菊花大会が盛大裡に終える事が出来ました事は、偏に関係者各位のご協力によるものと深く感謝致します。紙面からではございますが皆様方のご協力・ご好意に対し厚く御礼申し上げます。

宗像大社 宮司 高向正秀

各賞、受賞者は下記の通り(敬称略)

内閣総理大臣賞	時田義光
農林水産大臣賞	和田太義
文部科学大臣賞	中川泰祐
総務大臣賞	社家間サツキ
法務大臣賞	佃俊美
外務大臣賞	生武静男
財務大臣賞	古井弘己
厚生労働大臣賞	三原正澄
経済産業大臣賞	白壁富士夫
国土交通大臣賞	鳥巢敬次
環境大臣賞	石原陸生
防衛大臣賞	松尾常喜
内閣官房長官賞	坂本善隆
衆議院議員古賀敬章賞	安武善
宗像大社宮司賞	宗像大社宮司 福嶋

※以下、受賞者につきましては紙面の都合上割愛させていただきます。

# 献茶祭齋行

## 表千家々元奉仕

錦秋を彩る十月十七日、出光興産による

献茶祭が齋行され、九州各県はもとより山口県からも日々茶道に勤しむ人等、約六〇〇名が参集し、神苑は和服に身を包んだ女性等で終日賑わった。

献茶祭は昭和三十七年、出光興産(株)創業者・出光佐三氏によって始まり、昭和四十七年からは毎年十月十七日に行われており、今年で四十八回目を迎える。御家元の御点前を間近にみられるということもあり例年多くの茶道愛好家



而妙齋 千宗左 宗匠

が訪れる。

当日は秋晴れとなり、定刻午前十一時勅使館より神職、表千家々



元而妙齋千宗左宗匠、出光興産(株)名誉会長出光昭介氏、他関係者参進、祓舎での修祓の後、拜殿にて祭典が執り行われた。

祭典では齋主が茶道と表千家の隆昌を祈念する祝詞

を奏上、家元は風炉前に端座、「動」と「静」が調和した自然体で美しい御手前を披露された。御家元によって点てられた濃茶・薄茶、二服の御茶が御神前に供えられると今年の献茶祭も滞ること無く終了した。

尚、参列者は、儀式殿に設けられた「出光副席」、齋館に設けられた「同門会副席」に参席し、展示された掛軸・茶道具を観賞しながら御茶を頂き、至福の時を楽しみ、境内を後にした。

### 出光興産株式会社

## 創業百周年記念奉告祭

国家の発展に寄与した百年

明治四十四年六月二十日に出光佐三氏(出光興産創業者)が福岡・門司の地にて出光興産の前身・出光商會を立ち上げて今年で百周年を迎えた。去る十一月十一日、代表取締役社長・中野和久氏、名誉会長・出光昭介氏外役員・関係者が来社し、御本殿にて大様に創業百周年の御奉告を行った。

当初は、創業百周年という記念すべき年であり、東京で大々的に式典を行う予定であった。同社では、これまで創業の式年毎に物故者慰霊祭を式典に併せ執り行っているが、先の東日本大震災発生により東京での式典は自粛する運びとなり、今回の奉告祭となった。

当日、午前十一時より祭典が行われ、齋主より同社の百周年の奉告、物故者ご遺族のご多幸、社業の益々の発展を祈念する祝詞が奏上された。創業者である出



中野社長以下参列者

光佐三氏は、宗像は赤間の生まれで、宗像大神様に対する崇敬の念は並々ならぬものがあり、戦前疲弊していた当大社をありし日の姿に戻そうと宗像大社復興期成會を立ち上げられ、生涯を通して当大社の復興に尽力された方である。その後も、同社と当大社の関係は続き、同社の中堅社員を対象とした研修も年に一回は当大社で行われている。また各地の製油所・油槽所には宗像大社の分祠が祀られ、各事業所の神棚には大神様が奉斎されている。

大きな節目を迎えた出光興産株式会社の今後の益々のご発展ご活躍を御祈念申し上げます。

# 神賑行事

神威は敬心によつて増す

## 少林寺拳法 奉納演武

十一月三日、午後一時より本殿横にて宗像市少林寺拳法連合会他による恒例の奉納演武が行われ、小学校低学年から七十歳迄の拳士三十名が日頃の鍛練の成果を大神様に奉告した。祝日ということもあり多くの参拝者が足を止め、剛柔一体の迫力ある演武に感嘆の声を挙げていた。



## 第36回 清香吟社奉納吟詠大会

十一月三日、恒例の清香吟社による秋季奉納吟詠大会が開催された。

午前九時三十分、宗家・宗嗣益中翔山氏をはじめ、県内外より会員約五十名が参集。清明殿にて会員各々吟詠を披露した。正午、本殿にて正式参拝、会員一同による「吟道」の合吟が奉納された。

献吟後、一同は清明殿へと移動し式典が開催され、服部容月・本川秀子の二氏に対し永年斯道の興隆に寄与されたとして感謝状と記念品が贈呈された。



## 第38回 秋季奉納盆栽展

宗像大社奉納盆栽会(会長・石松重敏)による恒例の秋季奉納盆栽展が十一月十二日から十五日の四日間、本殿西側で開催された。

黒松や五葉松など優美な松柏盆栽を始めとして、この季節に相応しい山柿・紅葉・姫林檎などの雑木盆栽や小品盆栽など約四十点が出品され、参拝者の目を楽しませていた。



## 第3回 博陽吟道会 秋季奉納吟詠大会

十一月九日、博陽吟道会奉納による吟詠大会(協賛・吟道清吟会)が開催された。午前十時三十分より清明殿にて開会、その席上、永年斯道の興隆に寄与された博陽吟道会の森嶷山氏・嶋田叡月氏、吟道清吟会の大石秀月氏の三氏に対し、当大社より感謝状と記念品が贈呈された。引き続き、十一時三十分より本殿にて正式参拝、博陽吟道会々々長の藤井陽月氏による献吟、博陽吟道会・吟道清吟会両会々々員による合吟が奉納された。その後、清明殿にて会員各々自慢の喉で吟詠を披露した。



## 第38回 宗像本因坊戦

十一月十三日、当大社清明殿にて宗像本因坊戦(六・五段)、宗像大社奉納囲碁大会(五段)初段)が開催され、宗像・福津両市から約一八〇名が参集し熱戦を繰り広げた。

地区ナンバーワンを決める宗像本因坊戦は、高段者十五名で行われ、今年は昨年準優勝の石田徳房氏(六段)が見事優勝を果たした。



# 御造営に向けて

ている。国指  
定の重要文化  
財である辺津

当大社辺津宮は、昭和四十年代に行われた『昭和の大造営』といわれる境内整備事業で本殿・拝殿の修復並びに祈願殿・齋館等諸施設が整備され、現在の姿に整えられた。それから約四十年が経過し、本殿を含む各所で老朽化が目立ち始めており、ここ数年御造営に関して社内でも議論が行われてきた。

宮の本殿・拝殿について、県から平成二十五年から二十六年の二カ年をかけて修復、併せて防火設備の改修を計画している。既に打診があつており、当大社も本格的な事業推進の為、十月に御造営準備室を立ち上げ、公益法人文化財建造物保存技術協会に対し本殿・拝殿の詳細な調査を依頼している。また十一月十六日に開催された当大社責任役員会にて本殿・拝殿修復並びに防火施設の改修事業を上記の期間で行う事、又国庫補助を受ける為に事業計画と予算計画を平成二十四年度早々に文化庁へ提出することに関し承認を受けた。

国・県からの補助を受ける文化財保存事業は、県内の指定文化財の中で輪番で行われ

尚、今回は重要文化財である辺津宮本殿・拝殿の御修復が主であるが、今後沖津宮・中津宮も含めた諸施設全ての再整備を考えており、そちらの素案の作成にも取り組んでいる。今後、決定した事については紙面にてお知らせしたいと思います。



本殿調査

## 名芳者式挙式結婚前神

(平成23年8月～11月)

末長いお幸せをお祈り致します。



8月7日	中島 勇太様・高橋 玲子様	遠賀郡
9月23日	高畑 信幸様・吉田真希子様	宗像市
10月8日	大和 康友様・藤原三智子様	飯塚市
15日	福井 一夫様・岡元みゆき様	東京都
23日	池上 聡様・林 良美様	東京都
23日	小川善太郎様・大坪 明子様	東京都
23日	羽迫 隆史様・窪 智美様	宗像市
29日	花田 史明様・岡松 純子様	宗像市
29日	白土 聖司様・松尾 貴子様	直方市
11月3日	福田 正太様・福井美穂子様	遠賀郡
5日	白石 大典様・波多野景子様	古賀市
5日	名倉耕太郎様・田中久美子様	宮若市
6日	岩佐 成彦様・薄 春恵様	宗像市
12日	内山 裕文様・尾上ひとみ様	宗像市
18日	木梨 英忠様・宗形 佳織様	東京都
19日	高橋 遼様・赤嶺 涼子様	宗像市
21日	馬越 富夫様・杉本由美子様	遠賀郡
25日	湯浅 佳嗣様・永富 淳子様	遠賀郡

# 古写真真探訪 沖ノ島

NO.3

今回は、沖津宮が鎮座する沖ノ島を紹介する。写真①は昭和五年当時の港湾部分を写したものであるが、現在に比べれば小規模で頼りない波止であり台



沖ノ島全景 (昭和5年)



現在



風等では波が激しく打ち寄せ難儀であったのが想像出来る。現在では、大規模な港湾施設が整備され、国際避難港としての性格も併せ持っている。当時の波止は現在も残っている(写真②・中央)。また写真①には当時の社務所(白い建物)が写っているが、これは昭和二十年不慮の事故により焼失している。

## 平成24年 厄年一覽表

昭和47年	昭和46年	昭和45年	昭和42年	昭和41年	昭和33年	昭和32年	昭和28年	昭和27年	昭和26年	昭和24年	昭和23年	昭和15年	昭和14年	昭和6年	昭和5年	大正11年	生まれ年
前厄(男)	大厄(男)	後厄(男)	八方塞	暗剣殺	八方塞	暗剣殺	前厄(男)	大厄(男)	後厄(男)	八方塞	暗剣殺	八方塞	暗剣殺	八方塞	暗剣殺	八方塞	厄
40	41	42	45	46	54	55	59	60	61	63	64	72	73	81	82	90	満年齢
平成23年	平成15年	平成14年	平成7年	平成6年	平成5年	平成元年	昭和63年	昭和62年	昭和60年	昭和59年	昭和56年	昭和55年	昭和54年	昭和52年	昭和51年	昭和50年	生まれ年
暗剣殺	八方塞	暗剣殺	前厄(女)	大厄(女)	後厄(女)	前厄(男)	大厄(男)	後厄(男)	八方塞	暗剣殺	前厄(女)	大厄(女)	後厄(女)	前厄(女)	大厄(女)	暗剣殺	厄
1	9	10	17	18	19	23	24	25	27	28	31	32	33	35	36	37	満年齢

### 厄年

厄年とは人生の節目であるとともに、一生のうちで災い・災難といった「厄」にあうおそれが多いため、忌み慎まねばならないという年です。

特に男性の四十二歳、女性の三十三歳は「大厄」とされ、その前後の年も「前厄・後厄」といって、最も慎み忌むべき年とされています。

我々日本人の永年の生活習慣から発生した、我が国独自の慣習でありますが、厄年を迎えると我々の先祖は神社に足を運び、お祓いをうけ避けてきました。医学的にみても、男性の四十代は生活習慣病、女性の三十代は乳がん・子宮がんの発生率が高くなる年代で厄年とも符合します。神社でお祓いをうけ、この一年を清々しい気持ちでお過ごしください。

### 八方塞

陰陽道でどの方向に向かつて事を成しても、不吉の結果を生ずる年齢とされ、転居、結婚、新しく事をはじめ方は要注意と言われています。

### 暗剣殺

「九星術」でその年の五黄土星と相對する方位で、最も慎まねばならないとされる大凶の年廻りと言われています。

### 古式祭の御案内

※御座券は当日午前6時より販売致します。  
(例年午前5時30分位から多くの方が並び始めます。)

- ◆日時 12月18日(日)
- ◆祭典 午前6時
- ◆祭場 宗像大社本殿
- ◆御座 午前6時30分〜一番座  
(一番座150名ずつ、五番座まで)
- ◆会場 宗像大社清明殿
- ◆御座料 1人1,000円

八百年の伝統をもつ、宗像地方の特  
殊神事「古式祭」が左記日程で執り行  
われます。振るって御参列下さい。



### 除夜祭・大祓神事の御案内

年の瀬を迎え、皆様には御多忙の御事  
と拝察申し上げます。今年一年を締め括  
る「大祓神事」「除夜祭」が近付いて参り  
ました。

この大祓神事は「年越の大祓」と称し、  
夏(7月31日)に行われた「夏越の大祓」  
以後半年間の「罪」・「穢れ」を祓い清め、  
清々しい心身で新年を迎えていただくた  
めの神事でございます。

大祓神事に引き続き行われる除夜祭は、  
この一年を締めくくる祭典です。この祭  
典が終ると、しばしの静寂を経て元日を  
迎えます。

- ◆日時 12月31日(土) 午後3時
- ◆場所 神門前

尚、遠方または参列出来ない方は、大祓神事当日までに「人形」(男1白、女1赤)に息を吹きかけ、御家族の名前・住所・年齢を、「車型」にはナンバーを御記入の上、当大社まで御返送ください。



### 交通安全 宗像大社 初詣

### 交通規制のお知らせ

#### 期間

- 平成23年12月31日(土)  
午後10時から  
平成24年1月1日(日)  
午後8時まで
  - 平成24年1月2日(月)~1月3日(火)  
午前9時から午後7時まで
- ※交通状況により、規制時間を変更することがあります。

#### 凡例

	宗像大社順路
	一方通行
	歩行者用道路
	車両進入禁止
	交通信号機
	駐車場



#### ※主要地点から宗像大社までの距離

- ★東郷橋交差点から 4.1km
- ★日ノ里北口交差点から 4.1km
- ★神湊交差点から 2.0km
- ★瀬戸交差点から 3.3km

■公共交通機関をご利用ください

第六〇四回

宗像大社歌会詠草



大西晶子選 毎月25日夕刻

うきは市 浮羽町 向 則正
やうやくに花咲くまでになる桜宅地となりて切り捨てられし
宅地造成で伐られた桜を惜しむ作者。上の句に思いが
こもっている。へ初めての花をつけたる桜の木宅地造
ると切り捨てられつゝなどとしても。

福岡市 若木台 山崎 公俊

沖ノ島夜明けの海に多霧比賣は息吹きますすらし深く霧立つ
宗像の女神を詠んだ歌柄の大きな一首。作者の想像が
魅力的。たぎりひめの表記は宗像大社では田心姫神、古
事記では多紀理毘売命、日本書紀では田心姫・田霧姫。

北九州市 八幡西区 豊田 光子

つる草の覆ふ狭庭に網を干す島の集落軒さき低し
どこの島だろうか、丁寧な描写で景色が眼に見えるよ
うだ。島の漁村の生活感も感じられる良い歌。

福岡市 南区 井田有久衣

車椅子のりいしままでたわむれにピアノを弾けば友ハミングす
ピアノを弾けばハミングする友、二人とも感性が若い。
一・二句はへ車椅子に乗りいるままで。いしは過去。

宗像市 土穴 山本 静子

肩の骨異常なしとて自転車で上手くこけたネ医師が注射す
自転車で転んだ作者に骨折もなく、医師も作者も一安心
という感じが、医師の言葉に出ている。医師の言葉を括
弧に入れ、四句はへこけたネ」とに。

福岡市 若木台 野間 精一

傘寿前にわが目はまだまだ確かなり足元の蟻を踏まずに歩む
傘寿を前にした作者、しかし足元の蟻も見えるほどの
視力なのだ。初句・二句の字余りを解消するためにへわ
が視力傘寿をまえにまだ確かなどとしても良い。

福岡市 星ヶ丘 佐々木和彦

満月の月の海には濃き翳りあれども潮の干満はなし
心惹かれる歌。月の海の翳りはなにかを象徴している
のかもしれない、寂寥が感じられる。

宗像市 東旭ヶ丘 天野 玲子

道の辺に柿とみかんを並べたる老夫婦の居て一盛を買ふ
さりげない日常の一場面。果物を並べる老夫婦になにか
感じるところのあった作者か。買った一盛が柿かみか
んか分かるが良い。

宗像市 田久 巻 桔梗

眠る背を叩いてくれし妣の掌は蒲団をひつひつ泣かしてをりき
一読して、泣くというのは布団を作る折に綿の音をさせる
ことと思つたが、再読するとよく分からなくなった。上の
句が魅力的なので、泣く蒲団の実体を解りやすく。

宗像市 日の里 大和美由紀

朝霧につつまる庭にどこからか鐘をつく音がすかに聞こゆ
霧の朝のしずかな歌。方角は分からないが聞こえる鐘
の音。二句はへつつまるる。

宗像市 池田 森 龍子

水だけは張らねば燕が困ると言う津波に荒れし田の持主は
テレビ番組を見ての歌と思われるが、良い言葉を聴き取つた作
者に拍手。津波被害を受けてもこんなに優しくなれる人もいる。

宗像市 青葉台 山下 奈美

花嫁の三三九度の盃を持つ手の先がかすかに震う
作者は宗像大社の巫女さん。結婚式で緊張した新婦の様
子をよく捉えている。若い人なので、口語を使い結句を
へすこし震えるなどとしても

通者詠 高く咲く皇帝ダリアに注意書き

「見上げて首をいたためぬやうに」
皇帝は馬のにはひのする言葉
みがかれ光るナポレオンの長靴

第五七九回

俳句作品集

宗像市 日の里 花田いつ枝

幽暗や笛の音響く秋祭

宗像市 武丸 白土 凌一

紅葉や青空紅くそめんかな

宗像市 平井 占部 詩子

廃止ダム名残の水の澄んでをり

編集後記

先日ブータンよりワ
ンチュク国王夫妻が
来日された。お二人の姿は、清々しく温か
い印象を受けた。ブータンという国は、決
して経済的に恵まれているとはいえないが、
国民の90%以上は、今を「幸せ」に感じてい
るといふ。国民総幸福量(GNH)を提唱し、
物質的な豊かさのみを追求せず、国民の精
神的な豊かさも重視している▼翻つて我國
を始めとする先進諸国は、経済成長に追わ
れ、精神面を置き去りにしてきた感がある。
戦後我國が失つた伝統的な文化・価値観は
多い▼ブータンは、これまでヒマラヤ南麓
に位置する地理的な要因もあろうが伝統
的な宮みは守られてきた。これから更に外
界から様々な物や考え方が流入するだろ
うが、今後も変わらず「幸福の国」と呼ば
れ続けて欲しいと思う。(松)

発行所 宗像大社事務所・宗像会

住所 〒811-1350 福岡県宗像市田島三三三
電話 (094)0621-1311(代)
発行人 葦津幹之
編集人 大塚宗延・松林拓
制作・印刷 セネラルアサヒ

毎月1日発行 定価1年送料共 1,000円